



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 SRAホールディングス
 コード番号 3817 URL <http://www.sra-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 鹿島 亨
 (氏名) 北井 誠

TEL 03-5979-2666

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,765	9.3	1,543	30.4	2,015	38.0	1,139	41.6
25年3月期第3四半期	22,663	△4.1	1,183	△4.1	1,460	8.9	804	20.7

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,225百万円 (82.2%) 25年3月期第3四半期 672百万円 (103.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	87.86	87.31
25年3月期第3四半期	61.23	61.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	28,498	16,459	57.6
25年3月期	28,133	17,359	61.6

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 16,416百万円 25年3月期 17,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,900	8.5	2,900	19.0	3,000	4.0	1,860	10.6	146.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、第3四半期連結会計期間において1,300,000株の自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式の取得を反映させた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	15,240,000 株	25年3月期	15,240,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,394,210 株	25年3月期	2,101,709 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	12,963,848 株	25年3月期3Q	13,138,331 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)におけるわが国経済は、個人消費と生産が持ち直し、企業収益も改善する等景気は緩やかに回復しつつあります。

情報サービス業界においても、メガバンクのシステム統合需要や証券業界の制度案件需要(NISA「小額投資非課税制度」)等によりIT投資は回復基調で推移しましたが、足元の受注環境については、引き続き競争激化により厳しい状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期経営計画の3年目として、『既存事業の構造改革推進』と中長期成長戦略である『自社IP製品ビジネス×海外ビジネス』について、以下のような具体的施策を推進しました。

■『既存事業の構造改革推進』

「営業強化による受注・売上拡大」としては、提案型営業による案件の創出と案件・受注管理体制の強化等に取り組んだ結果、株式会社AIT、株式会社ソフトウェア・サイエンス等の売上高が増加しました。

また、「収益性の高い生産体制の構築」については、引き続き生産間接費の適正化を推進しました。

■『自社IP製品ビジネス×海外ビジネス』

自社IP製品ビジネスを成長市場である中国・インド・ASEAN等に展開するという中長期成長戦略のさらなる推進を目的に、Proxim Wireless Corporation、KingnetおよびCavirin Systemsに対して追加の事業投資を実施しました。

国内の自社IP製品ビジネスについても、総合文教ソリューション(UniVision)、メールアーカイブ製品(MailDepot)、デジタルコンテンツサービス(BELEGA-DC)、ECサイト構築サービス(BELEGA-EC)等の拡販に注力しました。

また、新しいビジネスモデルとして、市場拡大が予想されるヘルスケア分野において、株式会社ブラクテックスに対し事業投資を行うと共に、同社と協業してスマートフォン向けアプリケーション「HEALTHPLAYER」(※)を開発し、提供を開始しました。

(※)「HEALTHPLAYER」

スマートフォン等を介して利用者より取得した身長・体重・消費カロリー等のヘルスケアデータをクラウドに安全に記録・保管し、健康管理に役立てるとともに、SRAのレコメンド技術を活用して分析し、個々の利用者の健康状態に合った、生活習慣改善などの記事や関連広告等の配信を行う。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

売上高については、開発事業、運用・構築事業、販売事業の3事業全てが増加した結果、24,765百万円(前年同期比9.3%増)となりました。

損益面においては、営業利益は売上増に伴う売上総利益の増加により1,543百万円(前年同期比30.4%増)となり、経常利益は為替差益等により2,015百万円(前年同期比38.0%増)、四半期純利益は1,139百万円(前年同期比41.6%増)となりました。

第1四半期連結累計期間において特別損失に計上した投資有価証券評価損については、株価の回復により、当第3四半期連結累計期間においては、計上する必要がなくなりました。

なお、当社は、投資有価証券の減損処理について、四半期は洗い替え方式、連結会計年度末は切放し方式を採用しているため、連結会計年度末の投資有価証券の時価によっては、投資有価証券評価損を特別損失に計上する可能性があります。

以上のとおり、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、前年同期に比べて増収増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、電力向けが減少したものの、銀行・証券、損保向けが増加した結果、当事業の売上高は12,814百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、大学関連が減少しましたが、企業向けが増加した結果、当事業の売上高は2,627百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社AITが金融分野および医療分野を中心に好調を持続した結果、当事業の売上高は9,324百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産合計は28,498百万円(前連結会計年度末比1.3%増)、負債合計は12,038百万円(同11.7%増)、純資産合計は16,459百万円(同5.2%減)となりました。前連結会計年度末と比べ増減した主な内容は、次のとおりです。

(資産合計)

機器販売の案件の増加等により、商品が756百万円増加し998百万円、請負開発案件の増加等により仕掛品が787百万円増加し1,798百万円となりました。

なお、短期振替により有価証券が2,607百万円増加し、投資有価証券が同額減少しております。

(負債合計)

仕入等の増加により、買掛金が1,050百万円増加し3,497百万円となりました。また短期借入金が315百万円増加し1,544百万円となりました。一方、賞与引当金が242百万円減少し351百万円となりました。また、法人税等の支払により未払法人税等が221百万円減少し302百万円となりました。

(純資産合計)

為替相場の影響により在外子会社の換算時に発生した為替換算調整勘定が272百万円増加し124百万円、利益剰余金が547百万円増加し13,337百万円、自己株式の取得等により自己株式が1,536百万円増加し△2,930百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に開示しております「平成25年3月期決算短信」の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,197	7,796
受取手形及び売掛金	6,299	4,568
有価証券	1,002	3,113
商品及び製品	242	998
仕掛品	1,011	1,798
繰延税金資産	531	439
その他	1,222	2,090
貸倒引当金	△35	△31
流動資産合計	17,473	20,774
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	349	336
減価償却累計額	△253	△237
建物(純額)	96	99
機械装置及び運搬具		
機械装置及び運搬具	569	571
減価償却累計額	△522	△515
機械装置及び運搬具(純額)	46	55
その他		
その他	119	111
減価償却累計額	△77	△72
その他(純額)	42	39
有形固定資産合計	184	193
無形固定資産		
その他	894	718
無形固定資産合計	894	718
投資その他の資産		
投資有価証券	7,137	3,885
繰延税金資産	1,049	1,196
差入保証金	402	370
その他	1,093	1,469
貸倒引当金	△14	△15
投資損失引当金	△87	△96
投資その他の資産合計	9,580	6,810
固定資産合計	10,660	7,723
資産合計	28,133	28,498

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,447	3,497
短期借入金	1,229	1,544
未払費用	590	704
未払法人税等	523	302
未払消費税等	241	176
賞与引当金	594	351
役員賞与引当金	50	63
工事損失引当金	181	387
資産除去債務	17	9
その他	807	1,182
流動負債合計	6,683	8,218
固定負債		
長期借入金	300	—
繰延税金負債	3	4
退職給付引当金	3,620	3,641
役員退職慰労引当金	165	155
その他	0	17
固定負債合計	4,090	3,819
負債合計	10,774	12,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	12,789	13,337
自己株式	△1,393	△2,930
株主資本合計	16,879	15,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	402
為替換算調整勘定	△148	124
その他の包括利益累計額合計	439	526
新株予約権	39	43
純資産合計	17,359	16,459
負債純資産合計	28,133	28,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	22,663	24,765
売上原価	18,758	20,440
売上総利益	3,904	4,325
販売費及び一般管理費	2,720	2,782
営業利益	1,183	1,543
営業外収益		
受取利息	143	144
受取配当金	34	44
為替差益	87	200
その他	62	123
営業外収益合計	327	513
営業外費用		
支払利息	21	20
証券代行事務手数料	16	19
その他	13	0
営業外費用合計	51	41
経常利益	1,460	2,015
特別利益		
投資有価証券売却益	11	5
投資有価証券評価損戻入益	—	6
投資損失引当金戻入額	3	2
その他	0	0
特別利益合計	16	14
特別損失		
固定資産除却損	0	2
関係会社整理損	—	4
その他	0	0
特別損失合計	0	7
税金等調整前四半期純利益	1,475	2,022
法人税、住民税及び事業税	582	835
法人税等調整額	88	48
法人税等合計	670	883
少数株主損益調整前四半期純利益	804	1,139
四半期純利益	804	1,139

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	804	1,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159	△186
為替換算調整勘定	27	272
その他の包括利益合計	△131	86
四半期包括利益	672	1,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	672	1,225
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年11月19日付けの取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得にかかる事項について決定し、平成25年11月20日に自己株式を取得しました。

取得した株式の種類 普通株式

取得した株式の数 1,300千株

株式取得価額の総額 1,544百万円

取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付 (ToSTNeT-3) による買付け

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	11,752	2,485	8,425	22,663	—	22,663
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	254	380	670	△670	—
計	11,788	2,740	8,805	23,333	△670	22,663
セグメント利益	1,294	462	367	2,123	△940	1,183

(注) 1. セグメント利益の調整額△940百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	12,814	2,627	9,324	24,765	—	24,765
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	215	355	597	△597	—
計	12,841	2,842	9,679	25,363	△597	24,765
セグメント利益	1,342	537	602	2,483	△939	1,543

(注) 1. セグメント利益の調整額△939百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社グループはProxim Wireless Corporationとの業務・資本提携を目的として、同社への資金貸付を行っていましたが、平成26年1月21日開催の当社取締役会において、既存貸付金の返済期限延長を行うことを決議し、実行いたしました。

貸付金額 7,375千米ドル

変更前 返済期限 平成26年1月4日

変更後 返済期限 平成27年1月4日

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	前年同四半期比(%)
開発事業(百万円)	13,536	106.8
運用・構築事業(百万円)	2,646	104.6
合計(百万円)	16,182	106.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

②仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	前年同四半期比(%)
販売事業(百万円)	6,598	122.5
合計(百万円)	6,598	122.5

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

③受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	14,302	115.7	5,747	128.6
運用・構築事業	2,045	105.9	881	103.9
販売事業	10,818	128.1	4,700	131.7
合計	27,166	119.5	11,329	127.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

④販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	前年同四半期比(%)
開発事業(百万円)	12,814	109.0
運用・構築事業(百万円)	2,627	105.7
販売事業(百万円)	9,324	110.7
合計(百万円)	24,765	109.3

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以 上